



元荒川で希少魚保護に取り組む

えもり かずえ
江守 和枝さん(81)

から河川功労者に選ばれた。

ムサシトミヨは体長5拵前後の淡水魚。昭和初期には関東各地で確認されたが、環境悪化で激減し、今は元荒川上流の約2キにのみ生息。背や腹にとげがあり、食用にもならないが、冷たい清流にしかすめない繊細さを知り「この魚を守ることが、未来の環境を守ることにつながると感じた」。

元荒川は住宅地を流れ、空き缶などごみが捨てられていることも多い。保護には地域

の理解が欠かせない。県民向けの講演会で環境保全の重要性を訴える。地元の小中学校で繁殖を進めるほか、啓発パンフレットを持ち歩き、飲食店や美容院などに配る。

活動が実を結び、30年前に400匹だった推定生息数は、一時2万匹超まで増加。だがザリガニなどの天敵が増え、昨年調査では約2000匹に激減した。「活動に終わりはない。一匹も死なせないよう努力を続けます」

(白川愛)

2017.10.4

この人

埼玉県熊谷市の元荒川にだけ生息し、絶滅が危ぶまれる希少魚「ムサシトミヨ」を守るため、市民団体の代表として川の清掃や啓発に取り組む。環境保全に尽力した功績が認められ、今年、日本河川協会